

ARCHIVE

[NEWS & TOPICS](#)[EVENT INFO](#)[広報・情報公開](#)[キャンパスマップ](#)[本文印刷](#)[全文印刷](#)[HOME](#) > ARCHIVE

ARCHIVE

[2009年](#) | [2008年](#) | [2007年](#) | [2006年](#) | [2005年](#) | [2004年](#)

東京大学放射光連携研究機構 物質科学ビームライン完成披露式典



放射光連携研究機構では、既存の高輝度放射光を利用した先端的研究の展開を目指して世界最高水準の軟X線アンジュレータと放射光実験設備を備えた「東京大学アウトステーション・物質科学ビームライン」をSPring-8に建設・整備を進めてきましたが、関係各方面のご協力を得て、250eV～2keVの高輝度放射光を利用した物質科学ビームラインが完成し、10月から運転を開始できる運びとなりました。

これを記念して、平成21年10月9日(金)に式典および祝賀会等が、倉持文部科学省審議官、井戸兵庫県知事、藤嶋理研播磨研究所長、白川高輝度光科学研究センター理事長、本学からは、松本理事(副学長)、尾嶋放射光連携研究機構長等、多くの関係者の参加を得て、SPring-8中央管理棟上坪講堂にて開催されました。

新しいビームラインは、軟X線領域の高輝度放射光を発生するアンジュレータとそれに対応したビームライン、分光光学系、それと3つの実験設備で構成されています。これらの実験設備とフリーポートは、今後全て全国共同利用に供されることとなりますが、多くの研究者がこの世界最高水準のアンジュレータと最新の放射光実験設備を最大限に利用し、目覚ましい成果をあげ、そしてこのビームラインが多様な物質群を研究対象とする先端物質科学研究の分野で国際的研究拠点の一つになることが期待されます。

放射光連携研究機構ホームページ:

<http://www.oshimalab.t.u-tokyo.ac.jp/SRRI/index.html>
SPring-8ホームページ: <http://www.spring8.or.jp/ja/>

中央から右に 井戸兵庫県知事、尾嶋放射光連携研究機構長、松本理事(副学長)、倉持文部科学省審議官

第111回東京大学公開講座



10月10日(土)から11月7日(土)までの毎週土曜日に、計5回にわたり安田講堂において「水 - その文化と科学 -」をテーマに、東京大学公開講座が開催されます。

第1日目(10月10日(土))の公開講座では、安田講堂が満杯となる1100名を超える受講者がありました。

写真左: 濱田総長による開講の挨拶

写真右: 講義の様子

※定員に達したため、事前受付は終了しています。



濱口宏夫教授の講義の様子



村田茂穂教授の講義の様子



吉田亮准教授の講義の様子

総合研究博物館特別展示



総合研究博物館では、10月2日から10月31日まで、新発表のアルディピテクス・ラムダス(ラムダス猿人)化石の復元頭骨と復元骨盤を特別展示している。頭骨の復元は、マイクロCTによるデジタルデータを用い、総合研究博物館を中心とした研究グループが実施した。骨盤の復元は、ケント州立大学、カリフォルニア大学パーカー校と本館の研究者の共同研究として実施した。440万年前のラムダス猿人は、1994年に発表されたが、その全身像については、今まで不明であった。今回は科学誌サイエンスの10月2日号(特集号)に、11編の論文として、ラムダスの全身像ならびに生息環境に関する最新の研究成果が発表された。展示の復元標本とその研究は、この国際共同研究の一部であり、復元方法ならびに比較解析結果などは論文に詳述されている。ラムダスは、後続のアウストラロピテクス(約400万年前から100万年前ごろまで生息)と異なり、把握性の足をもち、直立2足歩行への適応が完成していなかった。四足型の下肢の蹴り出し構造をも一部保持し、森林から疎開林環境を中心に生息していたと推定されている。今まで知られていなかった、アウストラロピテクスに先行する新たな人類進化段階を示し、人類と類人猿の共通祖先についても多くを示唆する化石資料と

して注目されている。

「第48回全国七大学総合体育大会」閉会される



本年度で第48回を迎えた「七大戦」は、本学が主管校を務め7月4日(土)に開会され、41種目にわたり熱戦を繰り広げてきたが、9月26日(土)の卓球の部をもってすべての競技を終了し、同日16時から濱田総長、小島理事・副学長の臨席のもと閉会式を迎えた。

京都大学が優勝を飾り、本学は最後の追い込みもあと一歩及ばず、惜しくも準優勝の成績を残した。例年になく各部の健闘のあとが見られ、来年度以降への期待が窺える。



本部棟1階展示(東洋文化研究所)



ただいま本部棟1階ロビーでは、東洋文化研究所による展示が行われています。東洋文化研究所の研究活動と所蔵図書・資料を紹介するパネルやビデオ映像に加え、ショーケースでは、タイのダンマ・ソサエティー財団より寄贈された『パーリー語三蔵経』、中国清の乾隆年間に刻された版木を用いて印刷された仏教経典『乾隆版大蔵経』の一部、さらに東方文化学院(戦後東洋文化研究所に合併)旧蔵のガラス乾板資料を展示しています。アジアの過去・現在・未来を総合的に研究する世界的拠点である東洋文化研究所の活動の一端をご覧いただければ幸いです。

理系イベント「家族でナットク! 理系最前線」開催

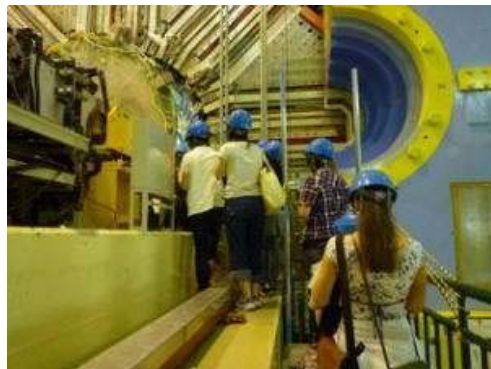


女子中高生の理系進学には、保護者の方の理解が不可欠! 東京大学の7つの部局・研究所(大学院理学系研究科、大学院工学系研究科、海洋研究所、地震研究所、宇宙線研究所、数物連携宇宙研究機構)が連携した理系進路選択連絡会では、この考えのもと2009年8月から女子中高生の生徒さんが保護者の方と参加できる理系イベント「家族でナットク! 理系最前線 ~見えないものを見よう! あなたも未来の女性研究者に~」を開催しています。

8月12日には、東京大学数物連携宇宙研究機構の主催で「未来をのぞこう! ~祝・ノーベル賞! 反物質ラボ見学と女性研究者とのティータイム~」が開催され、8月26日、27日には東京大学宇宙線研究所によって「地下1000mの世界最先端の研究施設を見に行こう!」が開催されました。どちらも研究現場を見学すると同時に、女性研究者と十分に話をする機会を設け、参加者の普段からの疑問に答えていました。これから12月にかけてさらに5つの部局・研究所がイベントを開催し、12月13日には、連携した部局・研究所が集まり安田講堂で総括イベントを行う予定です。

この事業は平成21年度科学技術振興機構(JST)「女子中高生の理系進路選択支援事業」に採択されて運営が行われていますが、来年度以降も東京大学内部のより広い部局・研究所と連携し、活動を広めていきたいと考えています。

参考:家族でナットク! 理系最前線 <http://sc.adm.s.u-tokyo.ac.jp/joshi09/>



2009/7/27(月) (8/24~9/1) 東京大学山中寮内藤セミナーハウス竣工式典及び竣工披露祝賀会 開催



山梨県南都留郡山中湖村において、かねてから建設中だった東京大学山中寮内藤セミナーハウスが無事に竣工を迎えました。

これを記念して式典及び祝賀会が、寄付者である内藤進リンナイ株式会社代表取締役会長、内藤弘康リンナイ株式会社代表取締役社長ご夫妻をはじめ、高村忠久山中湖村村長、地域関係者、本学からは、濱田総長をはじめ、小島、田中両理事・副学長等、多くの関係者の参加を得て、セミナー室、食堂ホールにて開催されました。

祝賀会終了後、内藤会長、小林康夫大学院総合文化研究科教授が講師となり1泊2日の合宿形式で、第1回「内藤塾」が開催され、セミナー室で行われた内藤会長の講演には、多くの参加者と共に濱田総長も参加され、講演に聞き入りました。

なお、山中寮内藤セミナーハウスは、7月29日(水)から8月27日(木)までの夏期特別開寮を皮切りに、通年の利用受入れを開始しました。



2009/8/4(火)～7(金) (8/18～23) 教養学部「直島環境キャンプ」の開催



教養学部では、8月4日から7日までの4日間、瀬戸内海に浮かぶ直島(なおしま)、豊島(てしま)、犬島(いぬじま)を舞台に、高校生を対象とする「東京大学直島環境キャンプ ―海と空の間で「人間の場所」について考える」を開催しました。主催は、教養学部附属教養教育開発機構・教養教育社会連携(ベネッセコーポレーション) 寄付研究部門。高大連携による高校生への教養教育の実践の一環として企画されたものです。

3回目の開催となった今回のキャンプにも多数の応募が寄せられ、国内外から21名の高校生が参加しました。現代アートを活用した地域活性化の試み(直島)、膨大な不法投棄による産業廃棄物問題の現場(豊島)、かつての銅精錬工場跡地の産業博物館(犬島)などを訪ねた他、多彩な講師によるレクチャーが開催され、盛り沢山のプログラムとなりました。高校生たちは、環境問題・現代アート・まちづくりという多様な視点からグループディスカッションを行い、最終日に発表会を行いました。

瀬戸内海の豊かな自然とそこに溶け込む現代アート、環境問題の現場視察、ベネッセコーポレーションの福武総一郎会長による特別レクチャー、そして各地から集まった仲間との出会いなど、普段の生活では味わうことのできない濃密な3泊4日になりました。





2009/8/6(木)～7(金) (8/10～17) オープンキャンパス



8月6日(木)本郷地区キャンパス、8月7日(金)駒場地区キャンパスにおいて、「高校生のための東京大学オープンキャンパス2009」が開催され、本郷約7,200名、駒場約2,200名の参加者があった。

初日の本郷地区キャンパスでは、参加者は、各学部等の模擬講義や研究室見学等を通じて、教育・研究活動を体験した。また、現役学生による東大ガイドス、キャンパスツアー、女子学生コース等の企画や、総合図書館、総合研究博物館等の見学も盛況であった。

2日目の駒場地区キャンパスでは、概要説明とキャンパス紹介の後、講義体験、学生との懇談、研究施設の見学等を行った。

2009/7/20(月)～21(火) (7/27～8/9) 濱田総長が北京大学を訪問



2009年7月20日(月)から21日(火)まで、濱田純一総長、田中明彦理事・副学長、小島憲道理事・副学長が中国・北京大学を訪問しました。北京大学では、昨年新学長に就任した周其鳳(Zhou Qifeng)学長らと今後の両大学の交流について幅広く意見交換を行ったほか、1985年から北京大学と本学との間で締結している全学協定の更新調印式を行いました。

2009/7/13(月) (7/13～26) 本部棟1階展示(数物連携宇宙研究機構)



2007年10月に発足したばかりの数物連携宇宙研究機構ですが、今回の展示をご覧いただいて目標とする科学や組織の整備状況、さらにはすでに上げつつある成果の一端に触れていただければ幸いです。ここで苦労話をご紹介します。パネルと映像の制作は問題なくできたのですが、陳列ケースに何を持ってくるかには悩みました。なにしろ新しい組織なので歴史的な骨董品との類はまだ持っていません。また、研究の対象が宇宙と素粒子なので、このケースに収まりそうな最先端装置の類でも適当な物が考えつきません。そこで思い切って、現在当方で行われているコンピューター・シミュレーションを使った宇宙初期に星が出来る仕組みの研究をモチーフにした展示にまとめ上げてみました。

これを機会に当方が目指す「宇宙の謎」解明での取り組みに興味を持っていただき、柏キャンパスにも足を運んでいただければ幸いです。

2009/7/1(水) (7/3～7/12) 潘基文国連事務総長と学生とのタウンミーティング



平成21年7月1日(水)に小柴ホールにおいて「潘基文国連事務総長と学生とのタウンミーティング」が開催され、本学学生を中心に約160名が参加しました。

「United Nations: Facing Today's Global Challenges」をテーマとした事務総長の講演では、気候変動問題、核不拡散、経済危機、国連改革など、多岐にわたる話題について触られました。その後、会場に集まった学生と活発な質疑応答が行われ、タウンミーティングは好評のうちに終了しました。



タウンミーティングの様子

2009/6/9(火) (6/23～7/2) 戸塚洋二先生追悼シンポジウム



平成21年6月9日、東京大学本郷キャンパス安田講堂にて、昨年御逝去された戸塚洋二先生の追悼シンポジウムが開催されました。東京大学および東京大学宇宙線研究所が主催し、高エネルギー加速器研究機構、素粒子物理国際研究センター、日本物理学会との共催として催されました。

戸塚先生は、ご専門であったニュートリノの研究だけに留まらず、関連する様々な分野への面識・見識が深く、平日の開催であったにも拘わらずシンポジウムの客席には多数のそうそうたる顔ぶれが並びました。特に、講演者に名を連ねていたノーベル物理学賞受賞者の小柴昌俊先生だけではなく、昨年度の受賞者である小林誠先生までがご来場くださっていたのは印象深いものでした。

シンポジウムは濱田純一東京大学総長の挨拶に始まり、戸塚先生の師匠である小柴先生からのメモリアルトーク、共に研究活動を行ってきたペンシルベニア大学のジーン・バイヤー先生、宇宙線研究所の鈴木洋一郎先生からのカミオカンデ・スーパーカミオカンデと戸塚先生の足跡など、全てをここでご紹介するのが難しいほど非常に多くの思い出がたくさんの方達から語られました。

参考：[東京大学宇宙線研究所ホームページ](http://www.u-tokyo.ac.jp/public/archives/2009/06/09/)



戸塚先生との思い出を語る小柴先生



同じく戸塚先生の思い出を語るバイヤー先生

2009/6/3(水) (6/15～6/22) グローバル・リーダーシップ寄付講座開講記念シンポジウム



平成21年6月3日(水)に東京大学大学院法学政治学研究所・法学部と読売新聞社の主催により、グローバル・リーダーシップ寄付講座開講記念シンポジウムが開催されました。本講座は、国際舞台上で活躍するリーダーを輩出する目的で、2009年4月より開講しました。開講記念シンポジウムには、前国連事務総長コフィ・アナン氏を講師に、国際協力機構理事長・元国連難民高等弁務官、緒方貞子氏をコメンテーターとして迎えました。会場の安田講堂には、学生を中心とした約1200名近くが参加し、アナン氏の講演「世界経済危機とアフリカ—アフリカのパートナーの役割」に聞き入りました。緒方氏は、アナン氏のケニアの和平プロセスへの貢献を称えました。その後、当寄付講座の運営委員長である北岡伸一教授の司会により、学生との質疑応答が行われ、両氏は、国際問題や、グローバル・リーダーとしての個人的体験などを語りました。当寄付講座では、今後3年間にわたって、国内外の第一級の著名な実務家を招いて講義、演習が行われます。



2009/5/28(木) (6/9～14) 「せいけん」創立60周年記念式典開催



生産技術研究所(略称:生研)が5月31日(日)をもって創立60周年を迎えました。これを記念して式典および講演会が、濱田総長をはじめ、多数の本学理事、生研OBの参加を得て、5月28日(木)に、駒場リサーチキャンパス内のコンベンションホールで和やかに開催されました。講演会では、原広司名誉教授、榊裕之名誉教授、前田正史理事・副学長による生研のキャンパス・研究・組織の歩みに関する大変興味深い講演がなされました。駒場リサーチキャンパス内にある60号館の改修のための鉄入れ式、「生研」のここ10年の歩みをまとめた冊子、生産研究「60周年記念特別号」の刊行も、時期を合わせて行われました。

生産技術研究所 <http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/index.html>



2009/5/23(土) (6/1～8) 「ご父母と教養学部長との懇談会」開催



「ご父母と教養学部長との懇談会」が5月23日(土)に開催されました。

この4月に入学した新入生の父母約200名を駒場キャンパスにお招きし、大学の様子や施設を見学していただきました。毎年駒場友の会が実施しており、今年で第4回となります。山影学部長の講演「駒場の魅力」の後、10名ほどのグループに別れ、時計台、教室、図書館、教務課・学生支援課窓口などを見て回るツアーを実施しました。

九州など遠方からの参加者も多く、「大学の様子がよくわかって安心した」、「とてもきれいなキャンパスで充実している」などとの感想をいただきました。

駒場友の会ホームページ:

<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/ilovekomaba/>



2009/5/18(月)~19(火) (5/22~31) G8大学サミット2009(イタリア・トリノ)



第2回G8大学サミットが、2009年5月18日~19日に、イタリア・トリノ市で開催されました。

本サミットには、G8諸国から21の大学長等、非G8諸国から11の大学長等、及び各高等教育関連機関から9の機関長等が参加し、“Promotion and Implementation of Sustainable and Responsible Development through Education”をテーマに討議しました。本学からは、濱田総長、田中理事・副学長、小宮山総長顧問が参加し、各国の学長や代表者と意見交換を行いました。

濱田総長は、18日に行われたEconomicsをテーマとする分科会で議長を務めたほか、分科会後に行われた全体会(18日および19日)において、分科会での討議内容の報告を行いました。

2日間の討議を踏まえ、最終日の全体会において「G8大学サミットトリノ宣言: “Torino Declaration on Education and Research for Sustainable and Responsible Development” (Turin Declaration)」が採択されました。また、来年のG8大学サミットがカナダで開催されることが決定しました。

第2回G8大学サミットホームページ:

<http://www.g8university.com/pagine/pagina.aspx?&L=EN>

第1回G8大学サミットホームページ(参考):

<http://g8u-summit.jp/>

2009/5/9(土)(5/12~21) 益川敏英教授講演会@駒場



5月9日(土)14時より駒場キャンパス講堂において、教養学部新入生歓迎講演会を兼ねた標記講演会が開催された。650名収容の会場満杯の聴衆が集まり、2008年ノーベル物理学賞を受賞された益川先生のお話に大いに刺激を受けた。

益川先生のご講演は、山影進総合文化研究科長・教養学部長の挨拶、菊川芳夫准教授の素粒子論の簡単な解説に続いて行われた。1時間以上の長い時間を感じさせない魅力で、ご自身が関わられた素粒子論研究の歴史について

語られた。そここに専門的なお話が含まれたが、その中心は、研究を進める人々についてのもので、「夜を徹しての友人との議論が一番大事」という言葉には多くの聴衆がうなずく説得力があった。

講演の後の質疑応答も活発に行われ、先生が専門を決められた経緯を訊ねるものや、今後の素粒子論の展望を訊ねるもの等、積極的な質問が続いた。講演会とその後の懇談会を通じて、益川先生は終始暖かく上機嫌で、若い人達にも囲まれ、ご自身も楽しいひとときを過ごされたように見受けられた。

2009/4/27(月)～30(木)(5/1～11) 東大フォーラム2009 in the UK



27日(月)には、ロンドンの英国王立協会(The Royal Society)でレセプションが開催され約120名の参加があった。各フォーラムは、シティ・ユニバーシティ・ロンドンで総合文化研究科による「人間の安全保障とビジネス」、インペリアル・カレッジ・ロンドン及びケンブリッジ大学で工学系研究科による「持続的発展における原子力エネルギーの役割」、マンチェスター・メトロポリタン大学で経済学研究科による「経済と障害」をテーマに行われた。

本学からは、濱田総長、田中理事・副学長のほか、学内3部局から約70名の教職員・学生が参加し、イギリスのトップ校の研究者、学生との学術交流を深めた。

また、4月28日(火)、29日(水)の両日、IARU(国際研究型大学連合)学長会議がケンブリッジ大学で開催され、濱田総長らが参加して、世界トップクラス10大学学長らと意見交換を行った。

2009/4/17(金)(4/23～5/1) 濱田総長就任記者会見



4月17日(金)午後2時から「濱田総長就任記者会見」が福武ラーニングシアター(情報学環・福武ホール)において開催され、濱田総長の「[就任挨拶](#)」および所信表明「[森を動かす。世界を担う知の拠点へ](#)」の概要説明並びに大学運営の構想について会見を行った。

また、会見終了後はUTカフェ(情報学環・福武ホール1階)に場所を移し、引き続きコーヒー等を飲みながらの活発な質疑応答が行われた。

本会見には、濱田総長の他、小島理事・副学長(広報担当)、武田広報室長(広報委員会委員長)が出席した。

2009/4/13(月)(4/13～22) 平成21年度東京大学入学式



平成21年度入学式が4月13日(月)に、日本武道館において挙行されました。式には約3,100人の新入生と、その父母など約5,300人、合わせて約8,400人が出席しました。

また、同日午後に大学院入学式も武道館において挙行され、約2,700人の新入生と、その父母など約3,000人、合わせて約5,700人が出席しました。

- ▣ [入学式\(学部\) 濱田純一総長式辞](#)
- ▣ [入学式\(学部\) 南部陽一郎先生祝辞](#)
- ▣ [入学式\(大学院\) 濱田純一総長式辞](#)
- ▣ [入学式\(大学院\) 中根千枝名誉教授祝辞](#)

2009/4/1(水)(4/1～12) 第29代東京大学総長就任挨拶



[濱田純一総長就任挨拶](#)

2009/3/23(月)、24(火)(3/25～31) 平成20年度学位記授与式、卒業式



平成20年度学位記授与式が3月23日(月)、卒業式が24日(火)に安田講堂において挙行されました。

学位記授与式では、修士課程2,933人、博士課程1,172人、専門職学位課程427人が修了し、本年度は、小宮山総長の告辞に引き続き、修了生総代(教育学研究科博士課程 大滝 世津子さん、工学系研究科博士課程 大内政輝さん)から答辞が述べられました。

卒業式では、3,094名が卒業し、小宮山総長の告辞に引き続き、卒業生総代(理学部 穂坂 秀昭さん、文学部 長崎 恭子さん)から答辞が述べられました。

学位記授与式

[小宮山総長告辞](#)

[答辞](#)(教育学研究科博士課程 大滝 世津子さん、工学系研究科博士課程 大内 政輝さん)

卒業式

[小宮山総長告辞](#)

[答辞](#)(理学部 穂坂 秀昭さん、文学部 長崎 恭子さん)

2009/3/19(木)(3/19～24) 本部棟1階展示(大学院情報学環)



今回の展示を担当いたします情報学環では、情報学環の前身のひとつである新聞研究所の初代所長であり、日本マス・コミュニケーション学会の創設に尽力した「新聞学」の先駆者、小野秀雄の収集したコレクションから、「春」にちなんだ錦絵を展示いたします。3月は江戸期のものを、4月には文明開化の頃の春の風情を伝える錦絵を御覧いただきながら、19世紀のメディアが伝えた桜の季節を感じ取っていただければ幸いです。なお、小野秀雄コレクションの一部は、情報学環本館1階、社会情報研究資料センター内にリニューアルされました展示室でも公開中です。21世紀COEの成果を反映したユビキタス端末による解説などもお楽しみいただけますので、関心を持たれた方はぜひお越し下さい。

また、情報学環の多彩なコースと活動を紹介するパネルとともに、映像では学生によって毎年開催される制作展「iii exhibition」の紹介と、コンテンツ創造科学産学連携教育プログラムの成果である映画「BLUE SYMPHONY」の予告映像の紹介も行っております。情報学環の多彩な研究の取り組みの一端に触れていただければ幸いです。

情報学環・学際情報学府

<http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/>

2009/3/10(火)(3/11～18) 平成21年度第2次学力試験(前期日程) 合格者発表



3月10日(火)、本学入学試験前期日程合格者および後期日程第1次段階選抜合格者の発表がありました。

社会科学研究所前道路は、受験生とその家族、報道陣、部員勧誘の運動会学生達であふれました。

2009/2/24(火)(3/5～10) 理想の教育シンポジウム



2月24日(火)13時30分から工学部教授会室において、「理想の教育シンポジウム『新しい教育と行動する大学 ―理想の教育を目指して―』」が開催されました。

シンポジウムでは、小宮山総長による「新しい教育と行動する大学」の講演に引き続き、藤原毅夫 特任教授(大学総合教育研究センター)による「理想の教科書」、大瀧友里奈 特任助教(大学総合教育研究センター)による「著作権を侵害しないために」、美馬秀樹 特任准教授(工学教育推進機構、知の構造化センター)による「進化する教科書」、Steven Kraines 准教授(総括プロジェクト機構、学術統合化プロジェクト(ヒト))による「生命研究の最先端を読む」、

三宅なほみ 教授(大学発教育支援コンソーシアム推進機構 副機構長、教育学研究科)による「大学発教育支援コンソーシアムからの期待」など、本学の新たな教育への取り組みを発表し、さまざまな議論がされ盛況なシンポジウムとなりました。

2009/2/17(火)(2/18～3/4) ヒラリー・クリントン米国国務長官と東京大学学生とのタウンミーティング



2月17日(火)弥生講堂・一条ホールにおいて、ヒラリー・クリントン米国国務長官と東京大学学生とのタウンミーティングが開催されました。学生270名の参加があり盛況のうちに終了いたしました。

開会に先立ち、小宮山総長、浅島理事・副学長ならびに学生代表との懇談、記念品の交換などが行われました。タウンミーティングは、学生の進行のもと、小宮山総長の挨拶、クリントン国務長官によるスピーチの後、質疑応答が行われ、学生から多数の質問があり、国務長官は、一つ一つ丁寧に対応されました。

[ヒラリー・クリントン米国国務長官スピーチ・質疑応答および、小宮山総長挨拶](#)



2009/2/7(土)(2/10～17) IR3S第4回公開シンポジウム



2月7日(土)安田講堂において、サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)第4回公開シンポジウム「地球温暖化問題:議論から行動へ～低炭素社会の実現に向けて～」(協賛:日本経済新聞社)が開催され、1,062名の参加がありました。

はじめに、IPCCパチャリ議長からのビデオメッセージが上映され、続いて小宮山総長、松橋教授(東京大学大学院新領域創成科学研究科)、一方井教授(京都大学経済研究所)がそれぞれ講演を行いました。後半の部では、「日本は低炭素社会をどう実現していくか?」をテーマに、アカデミア、産業界、行政、メディア等の代表者によるパネルディスカッションが展開されました。

[IR3S第4回公開シンポジウムホームページ](#)

2009/1/29(木)(2/3～9) 東大・慶應レセプションの開催



小宮山総長は、1月28日(水)から2月1日(日)にスイスのダボスで開催されたWorld Economic Forum 2009の年次総会(ダボス会議)に出席し、29日(木)の夜に本学および慶應義塾大学の主催による「東大・慶應レセプション」を開催した。オープニングでは小宮山総長と安西塾長が挨拶をした後、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部・北島信一特命全権大使が乾杯を行った。レセプションには、外国人を含む政府関係者、企業関係者、大学関係者など約190名が参加し、歓談した。

2009/1/16(金)(1/28～2/2) 第3回柏国際学術都市支援会の開催



1月16日(金)千代田区のパレスホテルにて第3回「柏国際学術都市支援会」が開催されました。本支援会は、柏の葉キャンパス駅前から東京大学柏キャンパスに至る地域をキャンパスタウン「柏国際学術都市」として整備することへの支援を目的としており、平成18年12月、東京大学と千葉大学が産業界に呼びかけ発足したものです。第3回となる今回は、キッコーマン株式会社の茂木会長を始めとした10名の委員、また、オブザーバー参加の堂本千葉県知事、本多柏市長、及び石原流山副市長らに加え、東京大学小宮山総長、千葉大学齋藤学長等が出席し、近況報告の後、東京大学柏の葉駅前キャンパスや千葉大学柏の葉カレッジリンク・プログラムに関して各委員より貴重なご意見をいただきました。

また、今後、同会のもとに柏国際学術都市研究会(仮称)を設置し、積極的に街づくりを推進していくこととして、盛況のうちに散会となりました。

柏国際学術都市支援会委員

茂木友三郎 キッコーマン株式会社 代表取締役会長 CEO
 浦野 光人 株式会社ニチレイ 代表取締役会長
 勝俣 恒久 東京電力株式会社 会長
 加賀見俊夫 株式会社オリエンタルランド 代表取締役会長(兼)CEO
 河野 栄子 DIC株式会社 社外取締役
 坂戸 誠一 千葉県中小企業団体中央会 会長
 株式会社坂戸工作所 代表取締役社長
 下村 満子 健康事業総合財団[東京顕微鏡院]特別顧問
 経済同友会幹事、ジャーナリスト
 数土 文夫 JFEホールディングス株式会社 代表取締役社長
 中西 宏幸 三井化学株式会社 会長
 早川 恒雄 株式会社千葉銀行 相談役
 三村 明夫 新日本製鐵株式会社 代表取締役会長
 米倉 弘昌 住友化学株式会社 代表取締役社長、社長執行役員
 原口 兼正 セコム株式会社 代表取締役社長
 長妻 和男 三協フロンテア株式会社 取締役会長

2009/1/17(土)-18(日)(1/19～27)大学入試センター試験行われる



平成21年度大学入試センター試験が、1月17日(土)、18日(日)の両日にわたって実施されました。本学では、本郷キャンパス、駒場キャンパスおよび学外の各試験場において、約10,000人が受験しました。

写真左: 駒場キャンパス正門前

写真右: 本郷キャンパス法文1号館試験室

2009/1/5(月)(1/14～18)本部棟1階展示(大学院総合文化研究科・教養学部)

東京大学教養学部の前身にあたる旧制第一高等学校(略称、一高)時代から引き継がれた、西洋科学や工学の導入期に用いられた計測器具などの一部と、機械製図の教材として用いられたスタニスラス・プチ「産業実務家」



(<http://gazo.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/petit/> 公開中)を展示しております。
 歴史の一端に触れていただくとともに、大学院総合文化研究科・教養学部
 の成り立ちとlate specializationの理念に基づく人材育成を行う東京大学教養学
 部の教育と研究に目を向けて頂ければと思います。

2009/1/1(木)(1/1～13)小宮山総長年頭挨拶



東京大学総長
 小宮山 宏
 新年あけましておめで
 とうございます。
 2009年の年頭にあたり、
 ご挨拶申し上げます。

[小宮山総長年頭挨拶](#)

[このページのトップへ](#)

Last Updated :17.10.09

このページに関するお問い合わせは[総務部広報課](#)まで
[サイトポリシー](#) | © 東京大学